

昭和十三年六月分

陣中日誌

第百八師團第四野戰病院

0989

六月一日
清化鎮
困談第三音

陣中日誌 第百八師團第四野戰病院

(水) 曇時之雨
氣温 午前六時 午後三時 午後十時

一本日入院患者早病三四名、原隊後歸五名アリ。

顔面爆創兼破傷風患者二名死セス

現在入院患者一九九名ナリ。

二 第一軍司令官陸軍中將香月清司閣下五月三十日附
參謀本部附ヲ命セラレ後任トシテ梅津美次郎閣下
就任セラル

三 師團參謀長砲兵大佐鈴木敏行殿本月今日附ヲ以
テ陸軍少將ヲ進級セラレ第一軍兵器部長ニ就任
セシ其後任トシテ輻重兵大佐石原章三殿就任セシ
四 部隊目々命令次ノ如シ(第一師團第四野戰病院本部)
一 明日ノ日直

六月二日
清化鎮
用數
音

(木) 雨

氣温

午前六時

午後三時

午後十時

一、入院平病十一名、原隊復歸六名アリ、現在患者二〇四名
二、部隊日日命令次ノ如シ、(六月二日十時清化鎮) 第百八師團第四野戰病院本部
三、明日、日直

高久見智士官、東梅林軍曹、菊池上等兵、山岸一等兵
三、本日、現員五二馬數左ノ如シ

將校一六、下士官二五、兵一八、計二九九

比皆川見習士官、能澤軍曹、成田上等兵
奈良崎一等兵

五、本日、現員五二馬數左ノ如シ
將校一六、下士官二五、兵一八、計二九九
馬數 八〇

(四) 十三〇六 小津橋

0991

六月三日
清化鎮
附設第百

(金) 雨

氣温 午前六時 午後三時 午後十時

入院患者平病六名 原隊後歸二名アリ、現在患者二〇八名ナリ

二、本日楊光燮当部隊附通譯トシテ着任ス

三、部隊日々命令次ノ如シ (新三日十五時松清化鎮、第一師團第四野戰病院本部)

(一) 明日、日直

鈴木見習士官松野軍曹石井上等兵、清野上等兵

(二) 楊光燮

右者当部隊附通譯ヲ命ス(日給三圓トス)

四、本日現負正三馬数左ノ如シ

將校一六 卜士官二五 馬一九八 計二九九

馬数 八〇

六月四日
清化鎮
用設年三吾日

(五) 雨後晴

氣温

午前六時

午後二時

午後十時

入院患者平病四名原隊復歸三名アリ、現在患者

二〇九名ナリ、

尚外来患者甲六名外科三十六内科一〇アリ、

二部隊日々命令次ノ如シ(六月四日十七時於清化鎮
第一師司令部野戰病院本部)

一) 明五日ヨリ医官配屬ナキ部隊ノ診療ヲ本隊ニ任テ行フ

(十時ヨリ十二時迄)

二) 明五日ヨリ一般住民ノ治療ヲ行フ、受附時間十時ヨリ

十二時迄、場所病院内ニ、治療病院

三) 明日ヨリ自直

高松見習士官 柴野軍曹 鈴木上等兵 高橋上等兵

五本目ノ現員並ニ馬数左ノ如シ

將校一六 下士官二五 兵二八 計二二九(一)

(昭和十三年六月 小倉稿)

六月五日
清化鎮
附録

馬数

八〇

(日) 曇

氣温 午前六時 午後三時 午後十時
18時 24時 22時

入院患者者六名何レモ平病ナリ、後送一名、原隊後歸

三名アリ、現在患者者二二名ナリ、

二、本日ヨリ軍醫配属ナキ部隊ノ診察及一般住民ノ

施療ヲ行ス、

三、部隊日々命令次ノ如シ(六月五日十六時清化鎮
第七十八師團第四野戰病院本部)

一、明日ノ日直、

屋代中尉、伊藤(金)軍曹、建部上等兵、野尻上等兵

二、韃靼兵特務等兵相川多兵衛

三、當分ノ間軍醫部勤務ヲ命ズ

四、本日ノ現員並ニ馬数左ノ如シ

0994

六月六日
清化鎮
開校第老日

將校一六 下士官二五 兵一九八 計二三九
馬數 七七

(月) 晴

氣温 午前六時 午後二時 午後十時
27° 24° 20°

一本日入退院ナシ

外來患者内科一〇名外科八名計九二名アリ、治療

室多忙ラ極ム

二部隊日命令次ノ如シ(六月六日午五時於清化鎮
第一師團第四野戰病院本部)

(一)明日、日直

志田少尉 左尉軍曹 山崎上等兵 園部上等兵

三本日、現員並ニ馬數左ノ如シ

將校一六 下士官二五 兵一九八 計二三九

馬數 七七

0995

六月七日
清化鎮
用裝束五百

(火)曇

氣温 午前六時 午後二時 午後十時

一入院患者 戦傷一五 平病八 計一〇三名 原隊後歸

一名 死亡二名 (大腿骨折 首管銃創)アリ

本日入院患者 大部分ハ 懷慶第三野戦病院ヨリ轉

送セラレシモノナリ 現在患者 三二名

二公用ノ為天津北京方面ニ出張中ナリシ山口副官本日

異常ナク歸隊ス

三部隊日日命令次ノ如シ (六月十八日清化鎮
兼有八師色第四師戦死本部)

(一)明日ノ日直

内藤少尉 高野軍曹 高橋上等兵 加藤一等兵

四本日ノ現員並ニ馬数左ノ如シ

將校一六 下士官二五 兵一九八 計二三九 (一)

馬数

七七

0996

六月八日
清化鎮
附設第三九名

(水)曇

氣温 午前六時 午後二時 午後十時

入院患者平病十三名原隊後歸七名死亡二名アリ

現在患者三二七名

入院患者ハ總テ療養第三野戰病院ヨリ轉送セ

ラレシモノナリ

二年前九時ヨリ城外北園ニ於テ衛生隊ノ縮帶術演

習アリ齊藤軍醫部長初メ各病院長等出席見

臨テス

三部隊日々命令次ノ如シ(前日十七時於清化鎮
第一野戰病院本部)

(一)明日ノ日直

北村准尉 山内軍曹 大江上等兵 鈴木一等兵

四本日ノ現員並ニ馬數左ノ如シ

將校 一六 卜士官 二五 兵 一九八 計 二三九 〇

昭和十六年六月八日

0997

六月九日
清化鎮
附録
四日

馬数

七七

(木) 雨

氣温

午前六時

午後二時

午後十時

入院患者 平病四名 原隊後歸一名 現在三二〇名

二近ク新御附近ニ出勤付キ病院ヲ閉鎖シ第三野戰病

院ニ引継キヲナスベキ内命ヲ受ケタルヲ以テ同病院ト打

合ヲ行ス

三山口副官停車場ニ至リ明後十日ノ部隊輸送ノ件

打合ヲナス

四部隊日日命令次ノ如シ(六月九日十六時於清化鎮
第一師團第四野戰病院本部)

一)本隊八日十時午後三時清化鎮第四野戰病院ヲ閉

鎖シ第三野戰病院ニ引継ヲサントス

各部ハ予メ其ノ準備ヲ完了シ引継上萬遺憾ナ

六月十日
清化集
開設第四日

キヲ期スヘシ

二) 明日ノ日直

二藤准尉 川村(元軍曹) 須田上等兵 奈良崎一等兵

五) 本日ノ現員並ニ馬数左ノ如シ

將校一六 下士官二五 兵一九八 計二三九

馬数

七七

(金) 雨

氣温

午前六時

午後二時

午後十時

入院一名 原隊復歸九名ニシテ現在患者三一三名ア

ルモ目下輸送力ノ關係上後送シ難キヲ以テ毛布食

器其他一切ノ設備ト共ニ現状ノ儘第三野戰病院

ニ引継ガナシ病院ヲ閉鎖ス去ル五月一日当地ニ病院

開設シテヨリ第四十一日ニシテ此ノ間收容患者累

0999

計七六〇名内戦傷二五名平病五三九名傳染病六名ナリ

二部隊八明十一日鐵道輸送ニ依リ新郷ニ向ヒ前進ノ為準備ニ忙殺セラル

三鈴木見習士官以下四名設營ノ為新郷ニ先發ス

四部隊日日命令次ノ如シ(輸百八師團第四野戰病院本部)

一本隊八明十一日汽車輸送ニ依リ新郷ニ向ヒ前進ス

第一班午前六時半出發準備ヲ完了シ本部前ニ集合日直士官ノ指指ヲ以テ停車場ニ到リ來者スベシ

第二半部八正午迄ニ出發準備ヲ完了シ内藤少尉ノ指揮ニヨリ停車場ニ到リ來車スベシ

(二)明日、日直

池田見習士官 吉田(義)軍曹 佐藤(傳)上等兵 山本一等兵
五本日ノ現員並ニ馬數左ノ如シ

六月十一日
新郷

(土) 曇

氣温

午前六時 28

午後二時 26

午後十時 24

將校 一六 下士官 二五 兵 一九 大計 二三七
馬数 七七

一部隊ハ二班ニ分レ第一班ハ隊長以下九〇名ニテ午前十時
清化鎮出發鐵道輸送ニ依リ新郷ニ向テ午後一時
全地着午後三時車輛馬匹医板等ノ卸下作業完
了五時城外北岡ニ宿管ス

第二班ハ午後一時清化鎮出發四時新郷着七時宿管

地ニ到着ス

ニ衛生二等兵一名補助衛生二等兵四名補充員トシテ本隊

ニ配屬ヲ命ゼラレ本日着隊ス

其ノ人名左ノ如シ

(昭和十三年六月十一日)

補助衛生二等兵 澤田春雄

全 深谷良治

全 大山八重太郎

全 熊谷彌平

衛生二等兵 相馬彌左三門

三、衛生材料購入ノ為天津北京方面ニ出張中ナリシ黒田繁

利官異常ナク歸隊ス

四、部隊日命令次ノ如シ(前日正時迄新郷)
(神谷部隊本部)

(一) 本隊公本日より新郷ニ宿営シ後命ヲ待タントス

(二) 衛生二等兵 相馬彌左三門

補助衛生二等兵 大山八重太郎

全 熊谷彌平

全 澤田春雄

全 深谷良治

六月十日
新

(日) 晴

氣温

午前六時

午後三時

午後十時

一現宿管地ハ狭隘不潔ニシテ蚊蠅多ク極メテ非衛生的ナルニ依リ各自専ラ之ガ清潔整頓ニ努ム、
 給水状況極メテ不便ニシテ水質不良飲料ニ適セス依テ濾過装置ヲ用ヒ河水ヲ淨化シ辛シテ炊爨飲料ニ供セリ尚入浴ハ附近ニアル浴場ト協定シ毎日使用シ身体

右補充要員トシテ本隊ニ配属ヲ命ゼラル

(三)明日ノ日直

皆川見習士官 野村軍曹 榎本上等兵 清野上等兵

五、本日ノ現負並ニ馬数左ノ如シ

將校一六 下士官二五 兵二〇一 計二四二

馬数

七六

清潔ニ努メタルモ黄河支流ノ河水使用トシ濁色ニ濁流シ

満足ナル能ハズ

二部隊日日命令次ノ如シ(六月十三日午後七時在新郷)

(一)明日ノ日直

大谷見智士官川村(伊)軍曹 浅野上等兵 高橋上等兵

三本日ノ現員並ニ馬数左ノ如シ

将校 一六 下士官 二五 兵 二〇一 計 二四二

馬数 七六

六月十三日 新郷

(月) 晴

気温 午前六時 午後三時 午後十時

一待機間兵器被服等諸般ノ整備ヲ実施シ傍ラ人馬ノ

休養ニ努メ後命ヲ俟テリ

二部隊日日命令次ノ如シ(六月十三日午後七時在新郷)

六月十四日
新御

(一) 明日、日直

高久見習士官 木村軍曹 高瀬上等兵 野尻上等兵

三、本日、現負並ニ馬数左、如シ

將校 一六 下士官 二五 兵 二〇一 計 二四二

馬数

七六

(火) 晴

氣温

午前六時

午後三時

午後十時

一、専ラ人馬、休養ニ努ム

二、現宿官地ヨリ城内ニ移轉ノ内報アリ、山口副官管米地

三、旅団本部ニ到リ訂合セラナス

三、昨日、日直

六月十四日七時迄新御
仲谷部隊本部

鈴木見習士官 吉田(政)軍曹 佐々木上等兵 園部上等兵

四、本日、現負並ニ馬数左、如シ

昭和十一年六月十四日

將校一六	下士官二五	兵二〇一	計二四二
馬數			七六

新 六月十五日

(水)晴

氣温 午前六時

午後二時

午後十時

一次期作戰ニ即應スヘク再ラ人馬ノ休養ニ努ム

二山口副官山名淵主計鈴木士官安連軍曹等新宿管地

設管ノ為城内ヲ調査ス

三公用ノ為出張中ナリニ塚本伊藤高橋軍曹等本員

常ナク歸隊ス

四部隊日日命令次ノ如シ(六月十五日十七時 松新郷神谷部隊本部)

(一)明日ノ日直

高橋松見習士官熊澤軍曹伊藤上等兵加藤二等兵

五本日ノ現員並ニ馬數左ノ如シ

新 六月十六日 解

將校一六 下士官二五 兵二〇 計二四二
馬数 七六

(木) 晴

氣温 午前六時²⁵ 午後二時³² 午後十時²⁹

一 專ラ人馬ノ休養ニ努メ外出ヲ許可ス

二 部隊日々命令次ノ如シ (六月十六日十七日於新御)

(一) 明日ノ日直

屋代中尉 東海林軍曹 石垣上等兵 鈴木一等兵

三 本日ノ現員並ニ馬数左ノ如シ

將校一六 下士官二五 兵二〇 計二四二

馬数 七六

六月十七日 新郷

(金)

晴

気温

午前六時

午後二時

午後十時

一、連藤軍曹以下左記、五名当分、間軍醫部ニ勤務ス

二、部隊日々命令次、如シ(六月十七日、新郷)

一、衛生軍曹 遠藤保平

会上等兵 大江一

補助衛生二等兵 佐藤房次郎

同上 小笠原惣平

同上 丸川義雄

右当分、間軍醫部勤務ヲ命ズ

二、明日、日直

志田少尉 菅野軍曹、存藤上等兵、奈良崎一等兵

三、本日、現負並ニ馬数左、如シ

將校一六 下士官二五 兵二〇 計二四二
馬數 七六

六月十八日(王) 曇

新郷 氣温

午後六時

午後二時

午後十時

一、近々某地ニ移動ノ報アリ、何時出發令降ルモ
差支ナキ様諸般ノ整備ヲ実施ス

二、京漢沿線定興及附封ニコレレハ疑似患者發生セリ、
新郷ニモ患疫流行ノ徵アリ、シテ以テ生水生果ノ飲
食ヲ嚴禁スリ。

三、部隊日々命令次ノ如シ(六月十八日十六時於新郷)

(一)明日ノ日直

黒田少尉 柴野軍曹 荒生上等兵 山本一等兵

四、本日ノ現員並ニ馬數左ノ如シ

將校一六 卜士官二五 兵二〇ニ計二四三
 馬数 七六

六月十九日 新解

(日) 雲
 氣温 午前六時 午後三時 午後十時

一 新任第一軍司令官梅津美次郎閣下本日新解ニ
 切度巡視セラルル午師團ニ於テ會食アリ部隊長去
 席ス

二 第十四師團主力ハ昨日ヨリ逐次開封ヲ去發當師團
 ト守備交代ノ為新郷ニ向ヒ前進中ニシテ當師團ハ其
 ノ未着ト共ニ現任務ヲ委譲シ逐次兵力ヲ撤廢平地
 ニ集結シ爾後ノ行動ヲ準備スルコトナレリ之ガ為我部
 隊ハ明日二十日汽車輸送ニ依リ清化鎮ニ向ヒ前進ニ決ス
 茲ニ部隊全員其ノ準備ニ着手先ヅ梱包ヲ残置

携り帶ノニツニ区分シ前者ハ之レヲ夕刻新郷駐構内残
置携り帶ノニツヲ区分シ前者ハ之レヲ夕刻新郷駐構内
残置荷物集積所ニ運搬シ之ニ左記所要ノ監視員
ヲ残置シ後者ハ之レヲ明朝貨車ニ搭載スルコトセリ
山口中尉ハ明日ノ人馬汽車輸送ニ関シ輸送指揮官
高橋砲兵中尉ト打合ヲナス内藤少尉ハ停車場ニ到
リ貨物ノ搭載ニ関シ打合ヲ了セリ。

(一) 本隊ハ明日汽車輸送ニ依リ清化鎮ニ向ヒ前進セントス
依テ五時去發準備ヲ完了シ本部前ニ集合スベシ

(二) 衛生上等兵 高瀬助五郎

右多分ノ間軍醫部勤務ヲ命ス

(三) 衛生上等兵 佐々木 甚悦

浦野生等兵 佐藤 東五郎

右残置荷物監視ヲ命ス細部ニ関シテハ歩兵五十二

聯隊佐藤少尉ノ指示ヲ受クヘシ

(四)

輜重特務二等兵 金田茂雄

長谷川多吉

右当分ノ間病馬收容班ニ服務スヘシ

四本日ノ現負並ニ馬数左ノ如シ

將校 一六 卜士官 二五 兵 二二一 計 二四二

馬数 七二

六月二十日
清化鎮

(月) 曇後雨

氣温 午後二時 午後三時 午後十時

午前五時宿官地名新御城外北園ニ出テ、新御驛ニ到
馬匹車輛貨物等ノ搭載ヲ行ヒ七時完了九時新御驛
出発途中恙ナク午後三時清化鎮驛ニ到着ス
本日ヨリ中野旅團長閣下ノ指揮卜ニ入り城内西方地

六月二十一日
清化鎮

區二宿營ス

二部隊日命令次ノ如シ(神谷部士時於清化鎮)

(一)本日ヨリ本隊ハ清化鎮ニ於テ宿營シ後命ヲ待タントス

(二)明日ノ日直

北村准尉 左副軍曹 渡邊上等兵 高橋上等兵

三本日ノ現員並ニ馬数左ノ如シ

將校一六 下士官二五 兵二〇一 計二四二

馬数

七二

(天)

一宿營地ノ清掃ニ努メ午後人馬ノ休養ニ努ム

二部隊日々命令次ノ如シ(神谷部士時於清化鎮)

(一)明日ノ日直

三藤准尉 高野軍曹 松田上等兵 野尻上等兵

三本日、現負並ニ馬数左ノ如シ

將校 一六卜士官二五 兵二〇一 計 二四二

馬数

七二

六月二十日
消化鎮

(水)

一午前九時ヨリ馬繋場ニ在テ衛生卜士官兵ニ對シテ
斯區扱内物品ノ使用法ニ就テ黒田少尉ノ教育アリ
將校見學ス

二午後四時ヨリ赤痢ノ予防接種ヲ行フ

三境軍曹ヲシテ本日ヨリ再ビ補充兵ニノ教育ヲ実施ス

四部隊日々命令次ノ如シ(六月廿二日十九時於消化鎮)
(神谷部内本報)

五明日、日直池田見習士官 山内軍曹 佐藤(傳)上等兵

園部上等兵

六左記ノ者明二十三日公用、為新御ニ出張ヲ命ズ

能澤軍曹 柴野軍曹 石井上等兵
 五、本日、現負垂之馬数左ノ如シ
 侍校一六、卜士官二五、兵二二、計二四二
 馬数 七二

六月二十三日
 清化 簿 (木)

一、専ラ人馬ノ休養ニ努ム
 二、能澤軍曹以下三名公用ノ為新御之出張ス
 三、部隊日日命令次ノ如シ(六月二十三日、神谷部隊、本部)
 一、明日ノ日直
 伊藤見習士官、遠藤軍曹、遠藤上等兵、加藤一等兵
 四、本日ノ現負並ニ馬数左ノ如シ
 侍校一六、卜士官二五、兵二二、計二四二
 馬数 七二

六月二十四日
消化鎮 (金)

近ク行動開始内報アリ而シテ行動間ノ各自携行品ハ
天幕外套毛布日用品トシテ他ハ梱包シテ残置荷物ト
ナシ行動ノ輕快ヲ圖ルコトナセリ。

部隊日月命令次ノ如シ(六月二十四日於消化鎮)
(津谷部隊本部)

(一)明日日直

大谷見習士官川村(元)軍曹木次全等兵 鈴木等兵

(二)左記ノ者残置荷物運搬ノ爲明廿五日新佛ニ出張ノ命大

鈴木軍曹 野尾上等兵 倉成一等兵

去本日ノ現負並ニ馬数左ノ如シ

將校 一六 ↑士官 二五 兵 二〇 計 二四二

馬数 七二

六月二十五日
消化鎮 (土)

二午後五時ヨリコレヲ予防接種第一面ヲ行フ。

三鈴木軍曹以下三名残置荷物ヲ運搬シテ新郷ニ向ス。

四新郷ニコレヲ發生ノ報アリ。依テ此圍軍醫部及兵站

醫官等ト協力シ防疫上萬遺憾ナキヲ期セリ。

四部隊日日命令次ノ如シ第一面(有共五月十七時於清化鎮)

(一)明日ノ日直

皆川見智士官、伊藤(今)軍曹、石井上等兵、奈良崎一等兵

日日命令第二面(有共五月十七時於清化鎮)

(一)新郷ニ直性コレヲ發生セリ

依テ各自衛生ニ注意シ之カ予防ニ努ルムヘシ(生水、生果

生菜ノ飲食嚴禁ス)

(二)明二十六日午前八時ヨリ清化鎮入城者ニ對シコレヲ予

防ノ為檢疫並ニ消毒ヲ実施ス

但シ本隊ノ担任也城ノ東門及北門トス

三右實施ノ為左記人員午前七時三十分馬繫場ニ集
合シ屋代中尉(東門)及ヒ志田少尉(北門)ノ指揮ヲ受
クシ

東門 池田、高松見習士官

菅野、吉田、伊藤(今)軍曹

齊藤、佐藤上等兵、森、佐藤(權)、石川、阿部、古木

小笠原一等兵

北門 伊藤、皆川見習士官

菅野、川村(元)、遠藤、軍曹、松田、淺野、須田上等兵

東海林、相馬、後田、遠藤、高田、土岐(等)兵

五、明本日ノ現員並ニ馬数左ノ如シ

將校一六 下士官二五 兵二〇〇 計二四一

馬数 七二

六月二十日
清化鎮

(日)

一命に依り本日ヨリ清化鎮入城者ニ對シコレに予防ノ為
檢疫並ニ消毒ヲ實施スルコトナレリ。

本隊ハ東門及北門ヲ担任シ午前八時ヨリ東門ハ屋代中
尉北門ハ志田少尉指揮ノトニ之ヲ實施セリ。

二部隊長副官ヲ伴ヒ檢疫ノ状況ヲ巡視ス
三部隊日日命令次ノ如シ(六月十六日三時於清化鎮)

(一) 明二十七日ノ消毒班勤務左ノ如ク實施スヘシ
ハ 集合時間及場処 七時三十分 本隊前

二 東門指揮官 鈴木見智士官

勤務者 小内川村(伊)在司軍曹

荒生上等兵佐藤清(後藤木村寺崎)

大山近二等兵

三 北門指揮官 内藤少尉

勤務者 鏡野村軍曹

佐藤(年)高橋上等兵

佐藤(年)菅野佐藤(三)前川高村

掃一等兵

(三)明日日直

高久見智士官 吉田(義)軍曹 建部上等兵 岸一等兵

三本日、現員並ニ馬数左ノ如シ

侍校一六ト士官二五 兵一九七 計二三八一

馬数 七二

六月二十七日
消化鎮

(月)

二前日ヨリ儘キ午前八時ヨリ東門ハ鈴木見智士官北門

ハ内藤少尉指揮ノ下ニ檢夜並ニ消毒ヲ実施ス

二午後六時ヨリコレヲ予防接種ニ面テ行フ

三大谷見習士官歩兵第五十二聯隊第三大隊ニ臨時配属
セリ尚当番内中野会行ス

遠藤軍曹当分ノ間師團軍醫部勤務ヲ命セラル
尚今日衛生上等兵渡辺勇騎兵隊ニ臨時配属セシム

四部隊日命令次ノ如シ(六月二十七日十八時清化録)
申谷部内本部

一、明日十八日消毒班勤務左ノ如ク実施スヘシ

二、集合時間及場処 七時三十分 本部前

三、東門 指揮官 池田見習士官

勤務者 熊澤森谷軍曹

伊藤根本上等兵

日下、土橋、島森、佐久保田、渡辺上等兵

北門 指揮官 皆川見習士官

勤務者 伊藤金吉(改)軍曹

木次谷、佐藤(傳)上等兵

齋九山田滝澤佐末石山熊谷二等兵

(二) 衛生部見習士官 大谷脩二

補助衛生二等兵 向中野克美

右本日より歩兵第五十二師隊第三大隊臨時配属ヲ命ス

(三) 衛生上等兵 渡辺勇

右本日より騎兵第一百八大隊臨時配属ヲ命ス

(四) 衛生軍曹 遠藤保平

右明二十八日より多分ノ間軍醫部勤務ヲ命ス

(五) 明日ノ日直

鈴木見習士官 野村軍曹 山崎上等兵 清野上等兵

右明日ノ現員並ニ馬数左ノ如シ

將校 一六下士官 二五 兵 一九五 計 二三六一

馬数 八二

六月二十八日
清化鎮

(火)

一引續キ午前八時ヨリ東門ハ池田見習士官北門ハ
皆川見習士官指揮下ニ檢疫並ニ消毒ヲ実施ス

ニ左記命令ノ如ク当師團長陶下ニ交送アリ

三部隊日命令次ノ如ク(神谷部附ニ時分於清化鎮)

(一) 陸軍中將 下元 熊彌

第百八師團長被免冬謀本部附被仰付(菅井)

(二) 陸軍中將 谷口 元治郎

第八師團留守司令官被免第百八師團長被仰付

(六月二十二日附)

(三) 明二十九日消毒班勤務左ノ如ク実施スヘシ

1. 集金時間及場所 七時三十分 本部前

2. 東門 指揮官 高松見習士官

勤務者 赤松高野軍曹

(昭和十一年六月二十五日)

遠藤石川須田上等兵

佐々木野口小管一等兵

3. 北門

指揮官、高松見習士官

勤務者、赤松高野軍曹、木村東海林軍曹

石垣大江建部、佐々木上等兵

松田熊谷、鈴木一等兵

4. 實施時間 八時ヨリ十二時迄

(四) 明廿九日八時ヨリ十二時迄城内西南隅に於て實際射撃を

實施ス依テ補充員並ニ勤務ニ差支世キ希望者ハ

八時本部前に集合し内藤少尉ノ指揮ヲ受クベシ

(五) 明日ノ日直

高松見習士官、川村(伊)軍曹、高橋上等兵、高橋上等兵

四. 本日ノ現員並ニ馬数左ノ如シ

將校 一六 下士官 二五 兵 一五 計 二六

清化鎮
九月九日

馬数

八二

(水)

一、引鐘午前八時ヨリ東門ハ高松見習士官北門ハ伊藤見習士官指揮ノ下ニ檢疫並ニ消毒ヲ実施ス
二、午前八時ヨリ十一時迄城内西南隅ニ於テ実弾射撃ヲ
實施ス

三、明日行動開始ノ命アリ、急遽出發準備ヲ行フ

四、部隊日命令次ノ如ク（六月十九日十七時於清化鎮）
神谷部隊本部

一、第二十師團方面ノ敵情ニ関シテハ新報ヲ得ズ

二、師團ノ主力ハ第二十師團当面ノ敵ヲ攻撃スル為ニ梯

岡トナリ、逐次宿管地ニ發、沃州沁水ヲ至テ可成連ニ

翼城附近ニ進出セントス

三、第一梯團ハ昨二十八日右計劃ニ從ヒ現宿管地ヲ去發ス

昭和十三年六月

(四) 本隊八朔三十日第二排團第三軍入り群長江橋大佐
 指揮ヲ以テ第二群ノ後方ヲ修行シ今日樹車鑓附近
 二翌七月一日沢洲附近ニ向ヒ前進セントス
 依テ明三十日六時去奔準備ヲ完了シ馬繋場ニ集合ス
 ベシ

(五) 行軍序列左ノ如シ

歩五第大隊主力第二兵站輜重本部上林輜重中隊
 歩五二小队第四野戰病院野重根團輜重二小队
 歩五二小队野重根團輜重二中队歩五二小队ノ
 順序

(六)

齋三軍曹 卯野整政忠
 輜重兵特務等 清野政太郎
 宇月喜久治
 原田 正

右新郷ニ於ケル殘置荷物監視ヲ命ズ

由明日ノ日直

厩代中尉木村軍曹大以上等兵野庭上等兵

五本日ノ現員正之馬数左ノ如シ

將校一六 下士官二五 兵一九五 計二三六一

馬数 八二

六月三十日 (木) 晴

一南郡山西省轟清ノ為第二梯團第三群ニ入り

午前七時清化鎮出發先ヅ澤州方向ニ進ム

コノ日於熱燒クカ如シ

先進部隊山路ニ入り難路ヲ為シトシテ進マズ遂ニ夜

リ暗夜ニ行軍ヲ續行ス

二日日命令ナシ

三本日ノ現員並ニ馬数左ノ如シ
 將校一六 卜士官二五 兵一九五
 馬数 計二三六一
 八二

陸軍